



開催報告：地域コミュニティ連携フォーラム～地域コミュニティを持続的に運営するためのポイント～

- ・福島県では、小さな拠点・地域運営組織の形成を通じて持続可能な地域コミュニティの共創を目指す「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ(共創カレッジ)」に取り組んでいます。
- ・その取組の一環として、県内で活動する地域運営組織・中間支援組織等の地域づくり団体や、行政関係者などを対象に相互の情報交換と交流を目的としたフォーラムを開催し、県内各地から51名の方に参加いただきました。
- ・フォーラムでは、はじめに山形県川西町の地域運営組織(特非)きらりよしじまネットワーク事務局長の高橋由和氏から、地域運営組織の形成から持続的な運営における4つのポイント(①合意形成 ②ひとづくり ③資金づくり ④つながる)について講演いただきました。
- ・続いて、県内で活動する3つの地域運営組織と高橋氏によるトークセッションや参加者同士のグループセッションを行い、「地域コミュニティを持続的に運営するためのポイント」について考えを深めました。



共創カレッジHP

開催概要

日時：令和6年11月22日(金) 13:30～16:00 (16:30まで交流タイム)

会場：コラッセふくしま4階 多目的ホール

内容：①講演

講師：(特非)きらりよしじまネットワーク(山形県川西町) 事務局長 高橋 由和 氏

演題：地域の持続化に向けた住民主体の取組とこれからの地域づくりの可能性～今求められる地域の力とは～

②トークセッション・グループセッション

スピーカー：(特非)きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋 由和 氏

NPO法人小さな拠点おおか(いわき市) 事務局 藤館 友紀 氏

中谷地区自治協議会(石川町) 事務長 志賀 一隆 氏

NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク(会津若松市) 事務局長 坂内 美智男 氏

参加人数：51名(自治体職員、集落支援員、地域運営組織、中間支援組織など)

取材：福島民友新聞社

主催：福島県企画調整部地域振興課

運営：「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ」事務局(みらいくる)

< 会場の様子 >

< 講演する高橋氏 >

< トークセッション >

< グループセッション >

< 交流する参加者 >



参加者の感想(抜粋)

【講演】

- ・地域づくりのプロセスデザインの形成段階～成熟段階までの期間が長期視点だと思いましたが、それくらい時間がかかるものだと理解しました。
- ・集落維持活性化のポイントを教えてもらった。特に「話合いの文化を築く」に共感。そのために話合いに来てくれた人に感謝すること。仲間づくりを一歩ずつ。「話し合っているか!」にドキッとした。

【トークセッション】

- ・それぞれ異なる成り立ちで活動されていますが、立上げに時間をかけた点が共通されていて、今の活動にもつながっているのかと感じました。
- ・立ち上げから現在に至る10年余りのプロセスの説明が高橋さんのお話と対応していて良かったです。
- ・人の集まりの少なさを地域の協力的なさと捉えていましたが、それを事務局等の関わり方の弱さと反省。また、発表の団体の方の頑張り大きな刺激になりました。

< フォーラムの内容をまとめたグラフィックレコーディング >

